

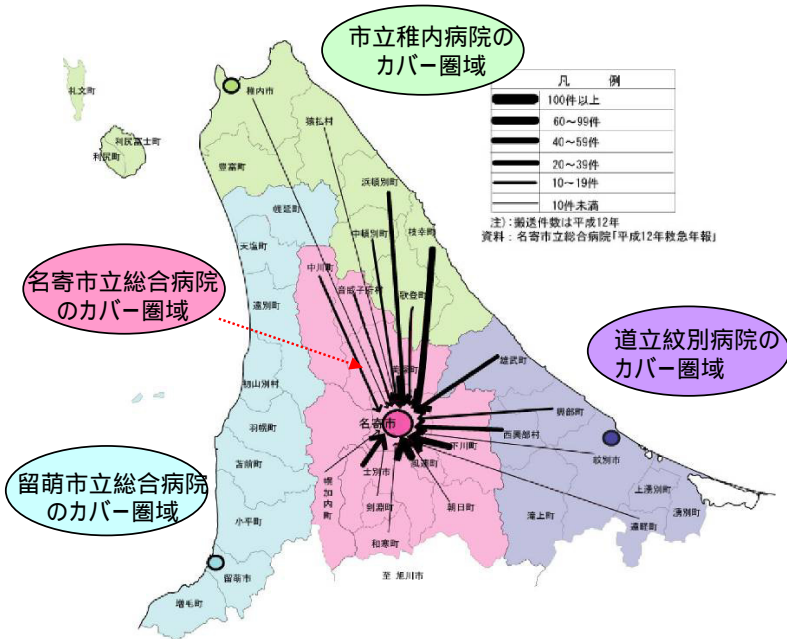
名寄市の特性

救急搬送

名寄市立総合病院は、旭川赤十字病院とともに道北医療圏を支える第三次医療機関であり、年間1,200件以上の救急患者が搬送されています。

第三次医療機関とは二次救急医療機関では対応できない重篤の救急患者に対応する、高度な診療機能をもつ24時間体制の救命救急センターである。

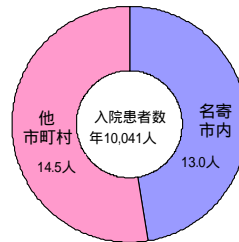
< 名寄市立総合病院への救急搬送件数(H12) >



その他の医療面

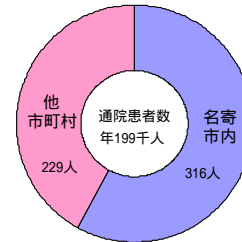
入院、通院、人工透析、出産などで、多くの患者が名寄市立総合病院に依存しています。

< 入院患者数 >
(日平均)



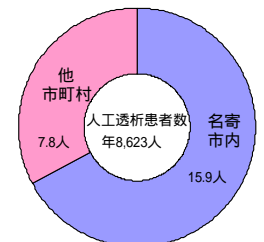
注：平成13年度 資料：名寄市立総合病院

< 通院患者数 >
(日平均)



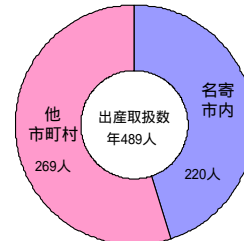
注：平成13年度 資料：名寄市立総合病院

< 人工透析患者数 >
(日平均)



注：平成13年度 資料：名寄市立総合病院

< 出産取扱数 >
(年間)



注：平成13年度 資料：名寄市立総合病院

< 名寄市立総合病院の救急車来院件数 >

